

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日 ～ 令和7年2月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日 ～ 令和7年2月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月20日 ～ 令和7年1月20日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5 (回答数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	●訪問支援において、子どもや保護者のニーズを捉え、適切な支援の提供ができています。	●多職種で子どもの状況を把握し、支援内容を多角的に検討している。 ●支援前に、事前訪問を行い、訪問先の様子を確認し個別支援計画に盛り込んでいる。 ●定例会や電子会議室(内部システム)で個別支援計画や支援内容を関係職員で共有するようにしている。	●今回の評価結果を踏まえて、子どもや保護者のニーズ、訪問先のニーズに応じた適切な支援が行えるように引き続き努めています。 ●よりわかりやすい報告、説明ができるように工夫していきます。
2	●保護者に対する個別支援計画の説明や訪問支の報告、訪問先への助言や説明等については丁寧に行えている部分があり、満足度が高かった。	●訪問先職員に支援方法を具体的にお伝えできるように努めている。 ●子どもの様子を共有しながら、訪問先職員と支援について一緒に考えるように努めている。 ●保護者報告は対面、書面で十分な時間をとって実施できるよう努めている。	
3	●各種専門職（OT、ST、CP、保育士等）が配置されており、お子さんの課題に応じた支援に携わっている。	●利用者の課題に応じた支援ができる専門職が担当できるようにしている。 ●複数の職員で支援に出ることもあり、その際はそれぞれの視点で利用者の様子を確認するようにしている。	●各種専門職の配置を継続し、子どもに応じた適切な支援ができるようにしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	●保護者等に対して、活動概要、連絡体制、家族支援プログラム等の情報発信が不十分だったところがある。	●HPやSNSでの情報発信は行っていない。 ●個別の支援の報告は各保護者に実施しているが、事業概要等の説明はリーフレットでの事業説明のみだった。	●事業所ガイドブックに事業内容の掲載をしています。 ●自己評価は令和6年度から実施したため、今後は継続して実施し、公表していきます。
2	●保護者に対して、非常時の対応における周知が不十分だったところがある。	●非常時の対応や安全計画について、保護者や訪問先が把握できるような形で記載されているものがなかった。	●安全計画の内容を重要事項説明書にも記載するようにし、保護者や訪問先にお伝えしていくようにします。
3	●就学移行支援において、連携体制が不十分だったところがある。	●就学に向けた支援は、直接関係機関とやり取りは実施しておらず、保護者を介しての情報共有を実施していた。	●相談支援専門員を通して、学校との適切な情報提供や連携方法を検討していきます。